

自民党政治をもとから変える

日本共産党

いのほら真弓



裏金政治を大そうじ

裏金問題を暴露し、自民党を窮地に追いつめたのは、日本共産党と「しんぶん赤旗」です。石破首相は真相にフタをしまったまま解散しました。日本共産党を伸ばして腐敗政治をもとから断ち切りましょう。

いのほら真弓のお約束

- 1 企業・団体献金を禁止します
日本共産党は自ら実行し、国民が主人公を貫いています。
- 2 核兵器禁止条約に参加します
軍事力の強化ではなく、憲法9条を生かした平和外交をすすめます。
- 3 暮らし最優先へ政治を転換します
消費税ゼロをめざし、まず5%に。インボイス廃止
中小企業を直接支援して最低賃金1500円以上に
「自由な時間」拡大へ賃上げと一体で時短を。1日7時間、週35時間に

人間は、ただ働いて食べて寝るだけの存在ではありません。趣味や家族との時間など、自由な時間があるこそ、豊かな人生ではないでしょうか。

プロフィール 尾道市出身。県立尾道商業高校卒業。民間企業に41年勤務。現在、新日本婦人の会県本部委員、党東部地区常任委員。63歳

比例代表は
日本共産党
とお書きください
個人名は無効

- 年金・介護・医療を充実する
- 学費値上げを許さず、「学費ゼロ」に
- 農業を基幹産業に位置づけ、食料自給率の向上、価格保障・所得補償を
- 気候危機打開へ本気で取り組む政治に
石炭火力と原発をゼロにし、再生可能エネルギーに転換します。
- ジェンダー平等
選択的夫婦別姓、男女賃金格差の是正など急ぎます。

国民が納得する政治へ 政権選択！『健全な政治へ大転換』 続・東京一極集中の是正 地方の成長なくして日本の再生なし！

立憲民主党 広島5区

佐藤こうじ



『3つの再生』で国民の生命と暮らしを守る！

1. 生活の再生
 - ・燃料費等の上昇分を緩和する速やかな財政支援
 - ・生活の基盤である農林水産業と地域の中小企業の支援
 - ・物価を上回る賃金上昇と最低賃金の安定的な引き上げと、実現を担保するため中小企業へ生産性の向上など経営支援を強化
2. 地域の再生
 - ・多発する自然災害などに備えた総合防災機能の強化（南海トラフ地震など）
 - ・高齢者のみならず誰もが住み慣れた地域で医療や介護を受け続けることができる体制と人材の確保
 - ・経済的な事情などに左右されず子ども達が夢や目標が持てる教育環境の実現
3. 日本の再生
 - ・国から地方への権限や財源の大胆な移譲により分散型の日本を目指す
 - ・義務と責任を踏まえ権利を大事にする公平で公正な透明性のある政治、格差のない多様性を認め合う社会を実現
 - ・情勢変化が激しい外交・防衛分野をはじめ経済と危機管理、食糧生産やエネルギー確保、地球温暖化など多くの政策課題にきちんと対応できる自立した平和国家をつくる

プロフィール

- ・1959年生まれ 佐藤守良次男（尾道市出身）
- ・慶応義塾大学 卒業
- ・(株)電通 勤務
- ・国務大臣秘書官
- ・衆議院議員 4期
- ・参議院議員 1期
- (参) 外交防衛委員長などの要職を歴任
- ・結集ひろしま 代表

『政治の信頼回復！ 裏金と統一教会問題は未解決！』
自民党の裏金と統一教会問題。国民が納得する説明がないまま政治不信は高まるばかり。国会で更なる政治資金規正法改正と政治の信頼回復に向け、仲間と共に全力を尽くします！

比例代表区も自民党へ

としまみ
こじま敏文
(プロフィール)

衆議院議員4期
妻・娘の3人家族
昭和25年生まれ、
世羅高、大東文化大学卒
中山正輝・宮澤喜一代議士秘書を経て、昭和58年広島県議、連続7期（副議長等歴任）

- 自民党広島県第5選挙区支部長
- 元復興副大臣
- 元厚生労働政務官
- 元自民党副幹事長
- 元自民党国土交通部会長
- 前自民党組織運動副本部長

難問から逃げない！
平和と暮らしを守り未来につなぐ

こじま敏文の政策

新しい経済を創る
命と暮らしを守る物価対策を講じ、実質賃金アップを表現
最低賃金の引き上げ、女性の所得向上

美しいふるさとを守る
農林水産業の持続可能性の抜本強化を図り、美しい農村・漁村を守り、食糧安全保障を拡充

誰ひとり取り残さない社会を
誰もが活躍できるダイバーシティの実現
安心して子育てができる生活・住宅支援、男性の育児休暇取得率向上

国際連携、安全保障に全力
現実的で実効性を持つ防衛力の増強により、抑止力を確保

気候変動・災害に強いまちづくり
気候変動、激甚化する災害への備えを強化
森林管理、総合治水政策を実現

新しい改革、対話型の政治を
政治資金規正法や自民党のガバナンスコードに則って
透明性を確保

自民党公認 公明党推薦

こじま敏文

としまみ

挑戦 新しい未来へ




投票にコ～イ！
めいすいくん

投票日 10月27日(日)

投票用紙は
小選挙区選出議員……………水色
比例代表選出議員……………ピンク色
最高裁判所裁判官国民審査……………うぐいす色
です。

(この選挙公報は、公職選挙法の規定により、候補者から提出された原稿を原文のまま印刷したものです。)